

ウランガラスとは、ガラスに着色料としてウランを混ぜたもので、19世紀中期のヨーロッパから制作が始まり、日本でも明治から昭和にかけて制作されていました。

近年では、チェコやアメリカなどでウランガラスが制作されていますが、日本では、妖精の森ガラス美術館が国産のウランを使用して制作し、「オンリーワン」の国産ウランガラスとして、また、国内唯一の地域産品として販売しています。

また、ウランガラスの最大の魅力は、紫外線を受けて蛍光を発するところにあり、日の光を受けてきらめく様子は妖精を連想させることから「妖精の森ガラス」の名称で制作、販売を行っています。

—現在ほどのような企画展をされているのですか？

現在は「日本のガラス工芸くさまざまな技法と表現」という企画展を行っています。内容としては、1960

年代から現在まで様々な造形活動を展開してきた21名のガラス作家の作品を紹介するもので、それぞれ持ち前の感性と技法を駆使し、素材としてのガラスの可能性を追求し続けている作品が展示されています。

また、今年度から私が企画展のご案内をする「ギャラリートーク」を月に1度、日曜日に実施しています。予約制となりますが、企画展をより楽しんでいただけるイベントとなっております。

—今年からガラス作家が1名増えたとお聞きしましたが？

今年からガラス作家が1名増え、吹きガラス作家2名と切り子作家1名の3名体制で作品の制作を行っています。

早速この4月からウランガラスの新作が登場し、今後増えていく予定です。ぜひ新作を手にとってご覧いただきたいと存じます。

—その他、今後企画されているイベントはありますか？

夏休みの特別企画として、ウランガラスを使用した吹きガラスの制作体験を行います。なお、ウランガラスの制作体験は夏休み期間に限り、30名様限定での実施となります。この他にも様々なイベントを設けて皆様楽しんでいただける美術館を目指しておりますので、ぜひ一度お越しいただけますよう、スタッフ一同心からお待ちしております。

ご利用案内
 営業時間
 午前9時～午後5時
 休館日
 毎週火曜日・年末年始

お問い合わせ先
 妖精の森ガラス美術館
 (鏡野町上齋原666-5)
 TEL.0868-44-7888

■館長のギャラリートークの開催について

上記の企画展のご案内の中でもご紹介しておりますが、企画展をより楽しんでいただくため、企画展の解説を行う「館長のギャラリートーク」を以下の日程で開催しますので、どうぞご参加ください。
 開催日：6月20日(日)、7月11日(日)、8月22日(日)、9月12日(日)
 開催時間：午前の部/午後11時～ 午後の部/午後2時～(およそ40分程度のプログラムになります。)
 定員：10名程度
 参加料：無料(入館券が必要です。)
 参加方法：予約制となりますので、参加をご希望される方は、美術館までお申し込みください。

■夏休み限定企画 ウランガラスの吹きガラス体験について

妖精の森ガラス美術館では、夏休み限定企画として、ウランガラスを使った吹きガラスの制作体験を開催いたします。なお、体験できる人数が限られておりますので、お早めにお申し込みください。
 開催日：7月24日(土)～8月31日(火)
 定員：30名様まで(定員になり次第、終了いたします。)
 体験料：お一人様 4,500円
 申込方法：美術館までお電話でお申し込みください。
 ※なお、1日にお受けできる人数は、午前の部・午後の部の各5名様までとなりますので、ご了承ください。
 その他詳細はお申し込みの際にご確認ください。